学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和６年の漢字　信

学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより３９号
令和６年２月１６日発行
文責：校長・副校長

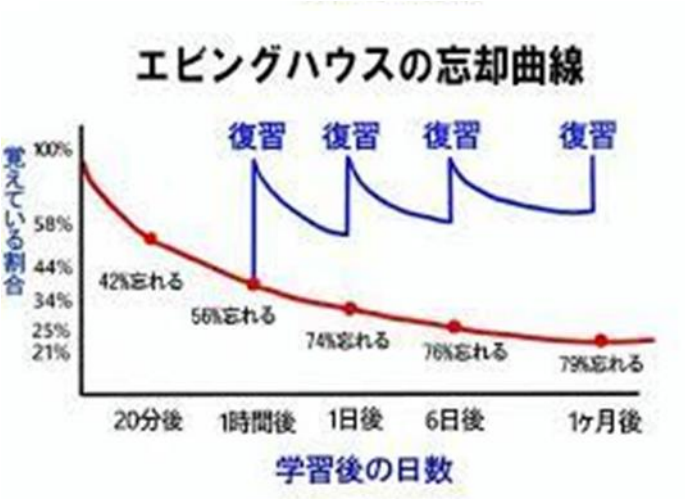
学年末テスト終了です

１年間の総復習である学年末テストが終了しました。まずは、テストまでの対策を十分に行って臨むことができたでしょうか。

テスト勉強の計画表を作成したり、部活動もテスト前活動中止だったり、とっちゅう学習会で学習したり…。今週は、それぞれの教科で結果が返ってきたと思いますが、テストは返ってきた後が大事です。

テストで良い成績を出すには、授業で習ったことを復習することが大切です。そのために時津中学校では、各教科１５分程度でできる宿題を出しています。それをしっかりと家ですることで理解を深める、習ったことを定着させることができるのです。

「エビングハウスの忘却曲線」というものをご存じでしょうか？



この表は時間と共に、どれだけ記憶したことが頭に残っているかを示しています。逆に言えば、どれだけ忘れるかということが分かります。

・２０分後には４２％忘れる
・１時間後には５６％忘れる
・１日後には７４％忘れる
・６日後には７６％忘れる
・１か月後には７９％忘れる

のです。しかし、図を見ると、復習をすることで、忘れたことを１００％に戻すことができることが分かります。また、復習を繰り返すことで、記憶が１００％に戻る時間が短くなっていることも分かります。授業で習ったことを家庭でくり返し復習することで理解が定着するということになります。ですから、授業の前に２分間学習をすること、宿題や課題をすること、自学ノートで学習することはとても大事なことなのです。

学力を向上させるコツは

〇授業を集中して受けること
〇わからないところは、先生や友達に聞くこと
〇くり返して復習を行うこと

なのです。

テストの結果も大事ですが、今回のテストの結果を受け、自分自身が３つのことができていたかなと考え、次に生かしてほしいと思います。

学んで得た知識が、みなさんの将来に役に立つ日が必ず来ます。真剣に考えてほしいなと思います。

第３回避難訓練（火災）

９日（金）５校時に避難訓練を行いました。今回は、抜き打ちの避難訓練を行いました。

生徒の皆さんは、落ち着いて放送や先生方の指示を聞き、無事に避難することができました。その反面、口を押さえるハンカチがない人がいたこと、真剣さが足りない行動が見られた場面があったことなどが反省にあがりました。

教頭先生の講評の中でこのような話がありました。

「能登半島地震による津波に襲われた石川県珠洲市では、家屋が壊滅的な被害に見舞われました。一方、珠洲市三崎地区は、高さ数メートルの津波が襲ったにもかかわらず、約１８０人の住人全員が無事だったそうです。その地区は、普段から毎年１～２回、津波からの避難や火災を想定した防災訓練を行い、合言葉は「いざとなったら集会所」だったそうです。住民は、地震直後、標高２３ｍにある集会所を目指して坂道を上りました。住民ら約１８０人が集会所付近に集まってきた数分後、津波が地区を襲ったそうです。混乱した状況で速やかに避難できたのは日頃から続けてきた訓練のお陰だと思います。」

東京ディズニーランドも年に２００回ほどの訓練を行っており、地震が起きた時に大きな被害を出さずに済んだそうです。また、東日本大震災の「釜石の奇跡」の話も聞いたことがあると思います。

真剣に訓練することがいかに重要か分かります。人の命は失ったら二度と戻ってきません。今回の反省をもとに、いつ災害が起きても冷静に行動できる自分に成長していきましょう。

自分の命を守ることが、
人の命を守ることにつながる。